

クールジャパン推進会議における 検討状況について

平成25年5月22日

クールジャパン戦略担当大臣

稲田 朋美

クールジャパン推進会議の実施

クールジャパン推進会議の開催(H25.3~)

- 稲田クールジャパン戦略担当大臣を議長として、発信力強化を目的とした、クールジャパン推進会議を設置
- 会議メンバーは、日本文化の第一人者である民間議員7名及び関係府省の副大臣等

<民間議員>

秋元 康氏(作詞家)、角川 歴彦氏(角川HD会長)、金 美齡氏(評論家)、コシノ ジュンコ氏(デザイナー)、佐竹 力総氏(日本フードサービス協会理事)、千 宗室氏(茶道裏千家家元)、依田 巽氏(ギャガ(株)会長兼社長CEO)

- これまでに3回の会議を実施。第3回会合では民間議員からの提言が行われた。

ポップカルチャーに関する分科会の開催(H25.4)

- 発信力の強化方策について、若者の視線による検討を行うため、推進会議の下に分科会を設置
- 会議メンバーは、ポップカルチャーの第一線で活躍している民間委員4名

<民間委員>

中村 伊知哉氏(議長:慶應義塾大学大学院教授)、河瀬 直美氏(映画作家)、
樹林 伸氏(漫画原作者)、齋藤 茂氏(株トーセ社長)

- これまでに2回の会議を実施。分科会で取りまとめた提言の内容をクールジャパン推進会議で報告。

(会議における民間有識者からの主な提言)

- ヒットのためにはストーリーが必要。そして、そのストーリー作りのためのコンテンツにはオールジャパンで総力を挙げて参加することが必要。
- スイーツを通じて日本文化を発信する。トップセールスで国を挙げて日本を売り出そう。
- クールジャパンの効果的な発信のためには、食、ファッション、おもてなしなどのトータルコーディネートが必要。
- ポップカルチャーが世界に飛び出す発信力を強化するため、参加(みんなで)、融合(つながって)、育成(そだてる)の三策を講じる必要がある。

今後の予定

5月末に第4回クールジャパン推進会議を開催し、民間議員からの提言を踏まえ、議長から「基本的考え方」を提示するとともに、具体的な「アクションプラン」を取りまとめる予定であり、現在調整中。

